

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	一般社団法人りとりと	
代表者名	兼子 佳恵	
連絡先	TEL : 080-1033-2881 FAX : なし	E-mail masa.2.mama.y.m@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	みんなの居場所
事業の目的	共働き世代が増加する中、休日に開所している公的支援事業所は市の中心部にあり、沿岸部の子どもたち集うことができる居場所が少なく、核家族化が進み多世代交流ができる場がほとんどない為、多世代が交流できる安心安全な居場所を提供し、子どもたちや高齢者を地域全体で見守る体制作りを目指す。
事業の具体的内容	・石巻圏域の沿岸部を中心とした住民（子どもから高齢者まで）に対し、居場所を開所する。 ・みんなで作って食べよう「世界のご飯」シリーズ 2024/10/09(夜) グリーンカレー 2024/10/31(昼) フムス 2024/10/31(夜) マクルーバ 2024/11/28(昼) アドボ&アボカドジュース 2024/12/26(昼) アチェ 2025/1/23(土) ナシゴレン ・モノづくり体験学習会 2024/11/25(昼) ハンドケアを学ぶ&クリーム作り 2024/12/21(昼) Xmas ギフトバックづくり 2025/1/6(昼) オリジナル飾りづくり（お正月 ver.）
活動の開始から完了までの流れ	1. 企画・準備期間（2024 年 4 月～9 月） ☒ ニーズ調査・ヒアリング（4 月～5 月） - 地域住民（子育て世帯、高齢者、福祉関係者など）への聞き取り - 沿岸部における居場所不足の課題整理

	☒ 事業計画・助成金申請（6～7月） - 目的や内容を整理し、助成金申請（採択済み） - スケジュール・予算・運営体制の確定 ☒ 会場確保・運営準備（9月～10月） - メニューなど企画全般の構築 - 食材・材料の調達、講師の依頼（料理講座・モノづくり体験） - 広報活動（チラシ作成、SNS、自治体との連携） 2. 事業実施期間（2024年10月～2025年1月） ☒ 居場所の開所（常時） - 石巻沿岸部の子ども、高齢者が気軽に集える空間を提供 - 多世代交流の場として活用 ☒ 世界のご飯シリーズ（異文化体験＋食育） - 2024/10/09（夜）グリーンカレー - 2024/10/31（昼）フムス - 2024/10/31（夜）マクルーバ - 2024/11/28（昼）アドボ&アボカドジュース - 2024/12/26（昼）アチェ - 2025/01/23（土）ナシゴレン ☒ モノづくり体験学習会（地域交流＋学び） - 2024/11/25（昼）ハンドケアを学ぶ&クリーム作り - 2024/12/21（昼）Xmasギフトバックづくり - 2025/01/06（昼）オリジナル飾りづくり（お正月 ver.） 3. 事業の評価・完了（2025年2月） ☒ 活動の振り返り・アンケート調査（2月） - 参加者（子ども・高齢者・保護者）の感想・意見を収集 ☒ 成果報告書の作成・助成金報告（2月） - 事業の成果・課題・今後の展望を整理し、助成元へ報告 - 地域への発信（自治体・SNS・地域メディア活用） ☒ 次年度の継続検討・新たな企画立案 - 居場所の継続・発展のための資金確保（新たな助成金申請・地域企業との連携） - 住民のニーズを踏まえ、新たなプログラムを検討
活動の成果と教訓	◆ 活動の成果 1. 地域の子どもや高齢者が安心して集える場の創出 ☒ 石巻沿岸部に、多世代が気軽に立ち寄れる「居場所」を提供 ☒ 子どもたちが放課後や休日に安心して過ごせる環境を確保 ☒ 高齢者の交流の場としても機能し、孤立防止につながった 2. 食を通じた異文化交流・多世代交流の促進 ☒ 「世界のご飯」シリーズで、子どもたちが新しい食文化を学び、興味を持つきっかけに

	✓ 料理を一緒に作ることで、異世代間のコミュニケーションが活性化 ✓ 参加者同士の会話が増え、地域のつながりが深まった 3. 実用的なスキルを学べる機会の提供 ✓ モノづくり体験学習会 では、実用的なスキル（ハンドケア、クラフトなど）を学ぶ場を提供 ✓ 子どもたちだけでなく、高齢者や親世代も参加し、世代を超えた学びの場となった 4. 地域住民の主体的な参加の促進 ✓ 参加者の中から「自分も何かやってみたい」という声が上がリ、新たな活動の芽が生まれた ✓ 地域ボランティアや保護者の協力を得られ、運営が円滑に進んだ 5. 事業の継続・発展の可能性 ✓ 参加者から「この活動を続けてほしい」「もっと頻繁に開催してほしい」という声が多く寄せられた ✓ 次年度以降の継続に向けて、新たな資金調達や支援の検討が必要になった ◆ 活動を通じて得た教訓 1. 居場所の「継続性」をどう確保するかが課題 ◆ 問題点：助成金に頼るだけでは、長期的な運営が難しい ◆ 解決策：地域企業・団体との連携強化、寄付・クラウドファンディングの活用 2. 多様なニーズに対応する柔軟性が必要 ◆ 問題点：「子ども向け」や「高齢者向け」など、一部の層に偏らないようにする必要がある ◆ 解決策：プログラムの内容を工夫し、幅広い年齢層が楽しめるようにする 3. 広報・情報発信の重要性 ◆ 問題点：初期段階では「居場所があること」を知らない住民も多かった ◆ 解決策：自治体/学校/SNS・チラシなどを活用し、広報を強化 4. 地域住民の主体的な関与が成功のカギ ◆ 問題点：運営側の負担が大きくなりすぎないようにする必要がある ◆ 解決策：住民が自発的に関わる仕組み（ボランティア・運営メンバーの育成）を構築する
--	--

	5. 参加者の声を反映した柔軟な運営が必要 ◆ 問題点： 初期のプログラムが参加者の興味に合わない場合もあった ◆ 解決策： 定期的なアンケートやフィードバックを取り入れ、参加者の希望に沿った内容を提供
今後の展望など	◆ まとめ：次年度に向けた改善点 ☒ 財源の確保： 助成金だけでなく、地域企業やクラウドファンディングの活用を検討 ☒ プログラムの多様化： 年齢層・興味関心に応じた柔軟な運営 ☒ 広報強化： 学校・自治体・SNS を通じてより多くの人に知ってもらう ☒ 地域住民の巻き込み： ボランティアや運営メンバーを増やし、持続可能な運営体制をつくる

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	180,000 円	
自主財源	472 円	
合計	180,472 円	

■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
イベント講師謝金		30,000 円	45,000 円
イベント材料費		60,000 円	16,928 円
食材費		90,000 円	118,544 円
合計		180,000 円	180,472 円

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー（郵送）

③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）

*写真は郵送とメールで送ってください。

活動報告書

イベント名	みんなの家（通常開所）	実日 施時	各日
実施場所	みんなの家		
内容	目的のない居場所として好きな時に来て自由に過ごしてもらおう。 子ども同士で遊んだり、食事をとったり、相談があれば対応しています。		
			
			
			
			
			
			
			
			
			

活動報告書

実施場所:みんなの家

イベント名	世界のご飯 グリーンカレーを作って食べよう	実 日	施 時	R6年10月9日（水） 10:00-13:00
内容	【参加者】10名 【講師名】鈴木るみこ（謝金5,000円）			





イベント名	世界のご飯 フムスを作って食べよう	実 日	施 時	R6年10月31日（木） 10:00-13:00
内容	【参加者】10名 【講師名】門脇篤 ※（一社）まちとアート研究所（謝金5,000円）			





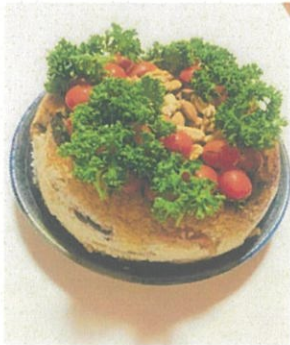




活動報告書

実施場所:みんなの家

イベント名	世界のご飯 マクルーバを作って食べよう	実 施 日 時	R6年10月31日（木） 17:00～20:00
内容	みんなで食べるとしあわせ気分があがります。夜は、マクルーバ（日本の炊き込みご飯のようなもの）を美味しく頂きました。アラブとユダヤの女性がいっしょに働いている団体が作っているパレスチナのオリーブオイルを利用しました。 【参加者】10名 【講師名】門脇篤		



イベント名	世界のご飯 アドボ&アボカドジュースを 作って食べよう	実 日	施 時	R6年11月28日(木) 10:00-13:00
内容	【お絵描き】紙やふすまに絵を描いたり、自由に大きな紙に好きな絵をかきました。 【世界のご飯】 みんなで食べるとしあわせ気分があがります。メニューは、フィリピンのアドボ&インドネシアのアボカドジュース。みんなで楽しいねー、美味しいねーとしあわせをわけ、わけ優しい時間でした。 【参加者】10名 【講師名】門脇篤(謝金5,000円)			

活動報告書

実施場所:みんなの家

イベント名	世界のご飯 アチエを作って食べよう	実 施 日 時	R6年12月26日（木） 10:00-13:00
内容	門脇篤先生のお絵描きワーク & 世界のご飯を開催しました。 【参加者】17名 【講師名】門脇篤（謝金5,000円）		







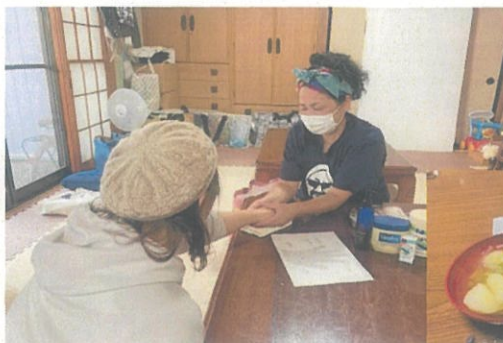
イベント名	世界のご飯 ナシゴレンを作って食べよう	実 日	施 時	R7年1月23日（土） 17:00-20:00
内容	本日の世界のご飯はインドネシアのナシゴレン。門脇先生、かずみさんに下準備をしてもらい、野菜のみじん切りとチキンでスパイシーなナシゴレンを大人も子供も食べれる味に仕上げ、お好みでスパイスをプラスして食べていただきました。 マシュマロデザートは前日からかずみさんが仕込んでくれ、とてもいい食感、味になり、美味しいと言っていました。 美味しい料理とデザートで皆さん話に花が咲き、楽しい夕飯となりました。 物価高、健康管理の話、イベントの話、その時に着る衣装の話題、着こなしのコツなど、様々な話題が飛び交いました。 子供達もお絵描きを楽しみ、夕飯もモリモリ食べてくれました。小さいお子さんには、おにぎり汁物を用意して、自分で思い思いに握って楽しんでもらいました。 門脇先生に監修いただき、インドネシアのお話も聴いて楽しい時間になりました 【参加者】15名 【講師名】門脇篤（謝金5,000円）			



活動報告書

実施場所:みんなの家

イベント名	モノづくり体験学習会 ハンドケアを学ぶ&クリーム作り	実 施 日 時	R6年11月25日（月） 10:00-13:00
内容	災害時ボランティア活動でも活用できるハンドケア&ハンドクリームづくりを学びました。ワセリンと好みのオイルを混ぜ合わせたクリームを作ります。自分で手を加えたクリームが仕上がると愛着もわいてきます。次に、クリームを使ったハンドケアの手法を学びました◎腰や肩こりの手のツボを教わり、実際にどういう流れでケアするか先生のお手本を拝見。その後は受講生同士でお互いの手をケアしました。践すると、ケアしてる側もされている側も同じようにお互いの手がポカポカ温かくなっていき、血行が良くなっていくのを実感しました。終了後は、手作りご飯を頂きました。 【参加者】10名 【講師名】佐々木千寿子（謝金5,000円）		



イベント名	モノづくり体験学習会 Xmasギフトバックづくり	実 施 日 時	R6年12月21日（土） 11:00-14:00
内容	今回は、クリスマスバージョンの食堂同時開催で、紙のマジシャン美枝先生のギフトバックづくりを教えて頂きました。親子で一緒に楽しく出来上がり、皆さん笑顔です。 【参加者】16名 【講師名】佐藤美枝（謝金5,000円）		



活動報告書

実施場所:みんなの家

イベント名	モノづくり体験学習会 オリジナル飾り作り	実 施 日 時	R7年1月6日（月） 10:00-12:00
内容	見るたびに華やかな気持ちにさせてくれるオリジナル飾り。なんと水引飾り、パーツもなんと全てけいちゃん先生の手作りです。 手作り部分のお花の作成の際は『難しそう、本当に出来るかな?』と心配ながらも先生の丁寧な手解きの元、それぞれに個性的で素敵な作品が完成しました。 【参加者】11名（大人9名、子供2名） 【講師名】堺本圭（謝金5,000円）		

